

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 7月11日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 7月11日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	プロセス放射線モニター系換気系排気筒入口放射線モニターサンプルガス流量において、流量変動が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	
2	3号機	非常用ディーゼル発電設備(A)排気ガス温度検出器No. 5において、シリンダーの排気温度に指示値不良(実温一定に対し、指示値に変動あり)が認められたため、当該温度検出器を点検・修理。なお、計器単体の不良であり、非常用ディーゼル発電設備の運転に影響なし。	GⅢ	
3	3号機	非常用ディーゼル発電設備(A)排気ガス温度検出器No. 8において、シリンダーの排気温度に指示値不良(実温一定に対し、指示値に変動あり)が認められたため、当該温度検出器を点検・修理。なお、計器単体の不良であり、非常用ディーゼル発電設備の運転に影響なし。	GⅢ	
4	3号機	非常用ディーゼル発電設備(A)排気ガス温度検出器No. 13において、シリンダーの排気温度に指示値不良(実温一定に対し、指示値に変動あり)が認められたため、当該温度検出器を点検・修理。なお、計器単体の不良であり、非常用ディーゼル発電設備の運転に影響なし。	GⅢ	